



「かっちえて」とは長崎の方言で「仲間に加えて」の意味です。

特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・長崎



## 開 会 式

～長崎市三菱重工総合体育館～

約2年の時間をかけて準備した、長崎での九州・沖縄ブロック大会。いつまでも台風がやってきて天候が心配な季節でしたが、当日は気持ち良い天気にも恵まれました。

九州各県からのアスリート・コーチ・ファミリーに加え、長崎県内からはボランティアも含め400人を超す大規模な大会。沿道にはSOののぼりがはためき、駐車場には、ファミリーだけでは足りず、警備会社の誘導員も立つなど、大イベント感が漂う雰囲気となりました。

朝から始めたリハーサル、打ち合わせなどの準備もそこに、あっという間に他県の大型バスや自家用車などが数百台も乗り入れ、体育館の玄関も館内も、人であふれかえりました。



開始時間になると、緑が丘中学校生徒さんのプラカードを先頭に、SON公式応援ソング『YOUR SONG』（GLAYのTERUさん作詞・作曲）のリズムに乗り、各県ごとにアスリートが入場。

誇らしげにギャラリーに手を振る人、満面の笑みでボランティアとタッチをする人など、SOらしい入場行進でした。（次ページへ続く）



## 九州・沖縄ブロック大会 in 長崎

式典が始まり、来賓のご挨拶などをいただいた後、歓迎の交流会アトラクション。

体育館全体が揺れているのではと思うほどの瑞宝太鼓の力強い演奏に会場が引き込まれます。「追っかけをするほどファン」と、写真を撮ったり握手をしてもらったり、興奮冷めやらぬ様子の他県ファミリーもいたほどで、その知名度の高さに、アトラクションに来ていただけて誇らしい気持ちになりました。



一息つくと、次は中華の雰囲気漂う変面ショー。本場の中国では門外不出で一子相伝の秘儀とされる、伝統芸能だそうです。

中国語のアップテンポな曲に乗り、扇子を翻しキレのある演舞に合わせ、どんどん変わるミステリアスな仮面。踊りが終わると仮面の正体が、綺麗なお姉さんとわかり、押すな押すなの楽しい撮影会に。近くで見守っていたファミリーやコーチも、携帯やデジカメを片手に大賑わいでした。



締めは「長崎といえば」の龍踊り。

長崎人にとっては、まるで「おくん

ちの興奮再び」の大迫力を目の前で贅沢に鑑賞した後は、なんと龍を持たせての体験会までしてもらいました。初めは恐る恐る龍を見ていたアスリートたちも、最後は順番待ちが出るほど。また、長崎のマスコット、がんばくん・らんばちゃんも駆けつけてくれて、一緒に写真撮影も大人気。

様々な長崎色のおもてなしを満喫してもらう交流会となりました。

絵画展や広告、アスリートへのお土産など準備段階から協賛してくださったみなさま、ボランティアのみなさま、アスリートの笑顔あふれる大会が無事に開催できましたことをご報告するとともに、感謝申し上げます。

また、大会開催にあたりご協力いただきました全ての方、本当にありがとうございました。

(なめしプール・ファミリー／那須 順)





# テニスの部

長崎市営庭球場(松山町)



初めての九州・沖縄ブロック大会に参加させていただきました。ほとんど手伝いられないこともできない私でした。絵画展は成功することができてよかったです。

開会式では、瑞宝太鼓や龍踊り、変面など趣向を凝らしていただき、選手たちもすごく楽しんでいました。もちろん私たち親たちも、です。大会の準備に関わっていただいたスタッフの皆さんには感謝の気持ちしかありません。

初めてのシングルスでの参加になり、武志はもちろん母の私もドキドキでした。コーチの皆さんにたくさんご指導いただきました。練習していくうちに上達していく子供たちにびっくり！！でもみんな楽しんでいましたようです。

大会当日、武志には多くの方が応援に来てくださいました。

保育園の先生、小学校の先生、児童デイサービスでお世話になったスタッフの方々。本当にうれしかったです。

1戦・2戦と順調に試合が進みましたが、3戦目は思ったようにはなりません。サーブは決まらず、返したボールもネットに当たることが多く、最終的に4-1で負けてしまいました。武志が落ち込んでいたことを知ったのはテレビの放送でした。周りの皆さんに励ましていただいた姿を見てびっくり！！

残念ながら望んでいた色のメダルは叶わず、焼肉のごちそうにはなりませんでした。大会での新たな出会い、仲間との大会に向けての練習など、武志にとってとてもいい経験をさせていただいたと思います。武志の中では次回に向けての目標も出来ました。がんばれ子供たち。

余談ですが、武志が負けた熊本選手とフェイスブックでお友達になりました。

(テニス・ファミリー／富永 眞理子)







## アスリートからひとこと

## 富永 武志さん



今回は初めてシングルスで大会に出場しました。  
シングルスで大会に出場することが決まった時はうれしかったです。

練習の時にコーチからいろんなことを教えてもらいました。サーブやボレーやたくさん教えてもらいました。最初、サーブを上から打っていたけど、ネットにあたっただけでした。宮崎コーチから下から打った方がいいと教えてもらいました。サーブが入るようになってうれしかったです。

僕は金メダルを取りたかったのでテレビで「金メダルを取ったらみんなに焼肉をご馳走したい」と言いました。

でも金メダルじゃなくて銀メダルでした。熊本の津川さんに負けました。サーブが入らなくて、返したボールもネットに当たりました。

熊本の津川さんに負けて落ち込んでいたら、みんなが心配してくれました。福岡の選手も僕を慰めてくれました。名古屋の大会で会った人でした。今回は 1 位にはなれなかったけど、次は 1 位を取れるように頑張っていきたいと思います。

## 陸上競技の部

長崎市総合運動公園陸上競技場(柿泊町)



11 月 10 日(日)長崎市柿泊陸上競技場で「九州・沖縄ブロック大会」が開催され応援に行ってきました。当日は天候にも恵まれました。

佐世保を出発し西海橋、琴海からの畝刈の交差点を通ったまではよかったのですが、途中で道を間違えてしまいました。余裕を持って出発したのに、出場時間に間に合わないと言っていました。

やっと到着して走ってスタンドに向かいました。近くのファミリーの方に尋ねると、1500 ㍎ 2 組目がスタートする直前でした。ギリギリで応援することができました。

隣で、レースを応援するファミリーさんがいました。宮崎から見えられたそうです。お互いに子どもの話をしたり、楽しい時間を過ごすことができました。子どもも親睦を深めるよい機会となりました。(佐世保陸上・ファミリー/茅原・母)



アスリートからひとこと



✓ 茅原 克輝さん 佐世保

長崎の陸上の試合の思い出になったことは、自分の力を維持しながら、1500 ㍎を走って行けたことです。

タイムは変わらなかったけど、自分の力を少しは出して走れました。



宮坂 友基さん 長崎 →

100mではメダルが取れなくて悔しかったです。でも、気持ちを切り替えて、リレーに出ました。みんなで頑張ったリレーでは、メダルをもらうことができ、とっても嬉しかったです。  
(右端が宮坂さん)



✓ 諫早 左から

田中 綾一さん

変面ショーと龍が楽しかった。



上水流 辰さん

楽しかった～。

横田 龍之介さん

大会で走ることができて、楽しかったです。



長崎陸上のみなさん



# 競泳の部

## 長崎東公園コミュニティプール(戸石町)



11月9日から10日、長崎県で第7回九州・沖縄ブロック大会が開かれました。9日は、交流会で各県ごとの行進、迫力ある和太鼓、綺麗なお姉様の変面、龍踊りで大盛り上がりとなり、みんな興奮した中、10日の大会が始まりました。

競泳は、長崎東公園コミュニティプールであり、約100名のアスリートが参加しました。

今回息子はメドレーリレーのアンカーだったので、大丈夫かなと心配していましたが、コーチの教えのもと息つきも少しずつできるようになり、ゴール前でまさかの「抜いた〜!!」で1位になりました。満面の笑みでした。

ファミリー役員としての仕事では、上手く進めず反省点が残りましたが、アスリートのみさんの最後まで良く頑張り泳ぎきった時の笑顔や、表彰される時の堂々とした姿に、たくさん元気と感動をもらいました。ちなみに息子は、「白い大きな花のメダルをもらったよ!!」と個人種目4位のメダルを喜んでいました。

長崎では初めての大きな大会でもあり、水泳役員やコーチ、ボランティアの方々には大変お世話になりました。そして、事前から準備を進めてきた実行委員や事務局の方々、本当にありがとうございました。

各県の方々が乗ったバスを見送りながら終わりましたが、この2日間は、アスリートにもファミリーにも輝かしい思い出として、胸に残るものになりました。

みなさん、これからも練習を頑張り、一緒に成長しながら、次の大会も楽しみましょうね!!

(東長崎プール・ファミリー/嵩下 亜紀乃)

## 成長の設計図



大村プールがスタートしたのが、2017年。大会参加は今回のブロック大会で3回目です。

今回は8名のアスリート参加となりました。

大きな会場、たくさんの参加者、慣れない競技参加にアスリートもファミリーもドキドキしてばかりでしたが、年を追うごとに「みんな成長したよね!」と実感しています。

ドロシー・ローノルトさんの詩に、

子どもは、成長の設計図を持っている  
子どもは、その子の速さで伸びる  
子どもは、その子の時間で育つ  
子どもは、その子の図案で実る  
子どもは、その子の歩幅で学ぶ

とありますが、それぞれがその子らしい成長の設計図でぐんぐん伸びていることを、とても嬉しく、誇らしく、そしてこの成長の機会をいただけたことを有難く思います。

大会を支えてくださった方々、いつも温かくご指導いただいているコーチの皆さまとの御縁に感謝の気持ちでいっぱいです。

次回大会でも弾ける笑顔がたくさん見られるよう、大村プルー同頑張りしたいと思います。

(大村プール・ファミリー/松村 奈美)



## 競 泳 の 部

### 佐世保組、がんばりました。

金メダルと銀メダルを獲得した山本昂君。

25m自由形に出場した田代龍基君の素晴らしい飛び込み。

1位でのタッチや自己新記録を出し、銀メダルの永田直ちゃん。



そして、長い間、泳ぐことから遠ざかっていた森本素代ちゃんが、試合の場の雰囲気と九州中のアスリートの元気さに触発されて、本番で「泳げた」奇跡のこと・・・。



もう「沢山の勇気とありがとう」をみなさんからもらいました。

(佐世保プール・コーチ/内野 勇次)



アスリートからひとこと

### 佐藤 友里子さん 市民

私は、25m平泳ぎに出場しました。

泳ぐ順番がきて、名前をよばれて少しドキドキしてきました。私は、緊張すると手がふるえます。でも、ふるえはすぐ止まりました。

いっしょに泳ぐアスリートは、熊本の2人、宮崎の1人と私の4人です。プールの半分をすぎて、あと半分。すこしきつくなりました。

「すーあ、すーあ」と心で大好きな姪っこの、すあちゃんの名前をいながらゴールまで、がんばりました。

表彰式で金メダルをもらったときは、とてもうれしかったです。

これからもコーチに教えてもらって、練習がんばります。



### ← 嵩下 裕哉さん 東長崎

人がたくさんいて、きんちょうしました。

でも、リレーのアンカーで一番になって、うれしかったです。

「さいこう！！」でした。(右端が嵩下さん)

### 上瀧 蓮さん なめし →

ぼくは、はじめてバタフライで泳ぎました。ドキドキしてきつかったです。

でも、みんながおうえんしてくれてタイムもよかったので、うれしかったです。これからもがんばります。

(写真左から二人目が上瀧さん)





## 事務局便り



- 1 **新型コロナウイルス感染拡大**に伴い、アスリート、ファミリー、コーチ、その他関係者の皆さんは不安や緊張の毎日を過ごされていることと思います。

SOではSOI（国際本部）の指示により世界的にプログラムを休止しています。

長崎でも全てのプログラム、会議など休んでいますが、一日も早く再開できる日を願っています。

## 2 2020年度 定期総会報告

3月15日(日) 10時半～12時までハートセンターで総会を開きましたので概要を報告いたします。

1) 2019年度の会員数 228名

2) 2019年度のアスリート数(競技別を含む)、コーチ数

\* アスリート数 194名(前年度220名)

|       |        |        |           |            |         |       |
|-------|--------|--------|-----------|------------|---------|-------|
| アスリート | 競泳: 72 | 陸上: 64 | ボウリング: 54 | バドミントン: 23 | テニス: 8  | 馬術: 4 |
| コーチ   | 競泳: 44 | 陸上: 31 | ボウリング: 10 | バドミントン: 6  | テニス: 10 | 馬術: 8 |

(注) アスリート数と競技別アスリート数の合計が異なるのは、複数競技参加者がいる為。

### 3) 2019年度の主な活動

3-1 2019年度 第7回九州・沖縄ブロック大会 in 長崎

開催日: 11月9日(土)、10日(日)

実施競技: 競泳、陸上、テニス

(ボウリング、バドミントンは地区大会として実施)

参加地区&参加数: 325名

|    |    |     |    |    |    |     |    |
|----|----|-----|----|----|----|-----|----|
| 福岡 | 佐賀 | 長崎  | 熊本 | 大分 | 宮崎 | 鹿児島 | 沖縄 |
| 50 | 13 | 138 | 45 | 17 | 32 | 25  | 5  |

### 3-2 チャリティー絵画展

開催日: 2019年8月31日(土)～9月2日(月)

主催: SON・長崎 チャリティー絵画展実行委員会

出展作品数: 120点 来場者数: 715名

### 4) 2020年度活動方針

新年度の活動として、現在実施のプログラムを拡張し、専門委員会（特にスポーツプログラム委員会）及び広報活動の充実を図るために広報活動を強化します。

### 5) 役員の交代

理事 (退任) 桑野 嘉典 (新任) 久保 里司

監事 (退任) 中島 健太郎 (新任) 松尾 克彦

以上

特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・長崎

理事長 植松 俊徳

〒850-0027 長崎市桶屋町56 電話/ファックス (095) 823-3575

メール [nagasaki@son-nagasaki.jp](mailto:nagasaki@son-nagasaki.jp) ホームページ <http://www.son-nagasaki.jp/>

メールアドレスが変わりました!